

★歩き続けて四十二年・五〇〇回の行進！

―「浜松市憲法を守る会」護憲平和行進の歩み―

◆今日は「浜松市憲法を守る会」の第五〇〇回目の記念すべき護憲平和行進です。今日は、この行進の歴史、そして私たちの思いを紹介致します。

★それは一人の牧師の勇氣ある行動から始まった！

◆一九六四年（昭和三十九年）十一月五日、浜松市街で陸空自衛隊が兵器を誇示する大パレードが行われました。

◆その時パレードの横を「戦争準備絶対反対」という抗議のプラカードを持って歩く一人の牧師がいました。

◆この勇氣ある行動は多くの市民の感動と賛同を呼びました。これが後に四十二年間毎月連綿として続く「浜松市憲法を守る会」の護憲平和行進の起源です。

★定着した行進は毎月休むことなく続いた

◆その後、浜松市憲法を守る会が結成され、一九六八年二月十一日建国記念の日制定に抗議する行進を機に毎月第二日曜日、雨の日も風の日も絶えることなく続けられ、今日を迎えました。

★憲法の見張り役として、生かす役割として

◆一九四七年（昭和二十二年）に憲法が生まれて六十一年、いまこの憲法を変えて戦争のできる国にしようという動きや、憲法に保障されている人権や生存権が脅かされる事態が出てきました。

◆私たちはこのような動きや問題を見張り、行進のたびに市民の皆さんに訴えてきました。

◆これからも「浜松市憲法を守る会」は、憲法に明記されている平和主義を守りぬき、私たちに保障されている人権や生存権、そして思想信条の自由を守り生かしてゆく役割を担ってゆきます。

◎私たちは、この行動を特別なものとは思っていません。平和を愛し幸福を求める者としてごく当り前の行動だと思っています。

◎市民の皆さん、月一回のこの当り前の行動・行進に一緒に参加しませんか。ご参加をお待ちしています。

二〇〇八年十月十二日（日） 第五〇〇回憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五

★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

